

## サントリー文化財団

### 「人文科学、社会科学に関する学際的グループ研究助成」中間報告会レジュメ

学習院大学国際センター 准教授 小林立明

#### 1. 研究テーマ

「ソーシャル・ファイナンスを促進する制度的基盤に関する比較研究—東アジアにおけるエコ・システムの構築に向けて—」

#### 2. 研究目的

拡大し、多様化する社会的課題を解決するためには、非営利セクターの伝統的な資金調達手法である寄付・助成金だけでなく、社会的インパクト投資、NPO・社会的企業向け融資、NPO債や社債発行、クラウドファンディングなどの多様な資金調達手法の開発が求められる。本研究は、こうした社会的リターンと経済的リターンの双方の実現を追求する資金調達手法を「ソーシャル・ファイナンス」と捉え、主要先進諸国との比較研究を通じて、日本を含めた東アジアにおける発展の制度的基盤を検討する。

#### 3. 進捗状況（2年目）

(ア) 2018年8月～2020年1月までに全13回の公開セミナーを開催

(イ) 2019年1月に英国より専門家を招き、関係者を集めたラウンドテーブルを開催

(ウ) 2019年6月にシンガポールで開催されたアジア・ベンチャー・フィランソロピー・ネットワーク総会に参加し、関係者にヒアリング

(エ) 2019年7月、韓国の社会的インパクト投資に関する現地調査を実施

#### 4. 今後の予定

(ア) 2020年3月までに残り2回の公開セミナーを開催予定。

(イ) 2020年6月にアジアから専門家を招いて国際会議を開催予定

(ウ) 2020年7月に2年間の調査結果をまとめた報告書を公開予定

#### 5. 主要研究成果

(ア) ソーシャル・ファイナンス手法の全体像

～サステナブル投資、インパクト投資、ソーシャル・バンク、クラウドファンディング、協同金融、ソーシャル・インパクト・ボンド、フィランソロピー等

(イ) ソーシャル・ファイナンスの標準化に向けた動き

① マクロ・レベル：UN PRI、UN PRB、GABV、Impact Investing principles 等

② ミクロ・レベル：Impact Management Project、IRIS、B Analytics 等

(ウ) ソーシャル・ファイナンスの革新

① SDG との連携の強化とこれによる革新的ファイナンス手法の開発

② エクイティ型クラウドファンディングによるインパクト投資の民主化

③ ブロックチェーン技術を活用した新たなソーシャル・ファイナンス手法

(エ) 東アジアにおけるソーシャル・ファイナンスの発展と制度的基盤